

平成22年度 自然ふれあい講座

1. 生き物が多様に生きる自然

生物がもつ多様な姿と生き方、信州特有の山岳地。それら自然の多様性を体験しに各地を訪ねます。

1. 真夏の夜の森～ヒメボタルが光る幻想の世界

夜の森で、ヒメボタルや他の動物との出会いを体験します。

共催：環境保全研究所友の会

7月17日(土) 18:30～20:00 長野市(戸隠) 定員:30名 担当:北野・岸元

2. 八方尾根の自然～1998 冬季五輪から 10 年

冬季五輪で話題になった八方尾根の自然保護問題を、高山植物や蝶を観察しながら振り返ります。

8月21日(土) 8:30～12:00 白馬村(八方尾根) 定員:20名 担当:須賀・尾関・富樫

3. 花と昆虫が描く草原の風景

草原の減少と生物多様性の保全について、植物と昆虫から考えます。

9月4日(土) 9:30～12:00 茅野市(車山高原) 定員:20名 担当:大塚・須賀

4. 自然史王国信州を歩く～上高地の自然基盤～

上高地や穂高連峰の成り立ちを学ぶエコツーリズムを提案します。

共催：信州大学山岳科学総合研究所

11月6日(土)～7日(日) 1泊2日を予定 松本市(上高地) 定員:25名 担当:富樫・北野

2. 信州の自然・これから

自然は常に変化をしています。信州の自然のこれからを、変わりつつある自然を体験しながら考えます。

1. ニセアカシア林をドングリの林に転換できるか

ニセアカシア林を他の広葉樹林に転換する事業地で、事業の現状やその課題について考えます。

5月23日(日) 9:30～12:00 松本市(牛伏川) 定員:25名 担当:前河・大塚

2. シカが霧ヶ峰高原の自然を変える

ニホンジカの食痕などを観察し、ニホンジカの広がりや植生保全について考えます。

6月26日(土) 10:00～15:00 諏訪市(霧ヶ峰) 定員:20名 担当:尾関・岸元

3. 増えるカワウのねぐら観察

県内各地で増加するカワウ。ねぐらのカワウを観察し今後を考えます。

共催：東信自然史研究会

12月4日(土) 15:00～17:00 佐久市 定員:20名 担当:堀田

3. 迫りくる地球温暖化

地球温暖化は信州にどんな影響を与えるか、温暖化を防ぐために私たちにできることは何か、を考えます。

1. 残雪ウォッチング～温暖化の影響は?!～

温暖化が進むと山の雪はどう変わるのか?残雪を手がかりにした市民参加の温暖化調査方法を提案します。

6月6日(日) 10:00～12:00 大町市 定員:30名 担当:浜田・富樫・陸

2. ライチョウは生き残れるか

温暖化などの影響により絶滅が心配されているライチョウの今をみつめます。

共催：信州野鳥の会

7月11日(日) 10:00～12:00 松本市(乗鞍岳豊平) 定員:20名 担当:堀田

3. 実感! CO₂のおもさ(夏編)～あなたが減らせるCO₂

家庭から排出されるCO₂を実感し、CO₂排出削減方法を考えます。

共催：県地球温暖化防止活動推進センター

8月7日(土) 10:00～12:00 千曲市 定員:30名 担当:浜田・畑中・陸

4. 県北に常緑植物が増えている

最近県北で増えてきた暖温帯性のシダやシラカシを観察し、地球温暖化の植物への影響を考えます。

10月23日(土) 10:00～12:00 須坂市(臥竜公園) 定員:20名 担当:大塚・堀田

5. 実感! CO₂のおもさ(冬編)～あなたが減らせるCO₂

家庭から排出されるCO₂を実感し、CO₂排出削減方法を考えます。

共催：県地球温暖化防止活動推進センター

1月22日(土) 10:00～12:00 伊那市 定員:30名 担当:浜田・畑中・陸

◆お申し込み・お問い合わせ◆

研究所に直接、電話・ファックス・Eメール等でご連絡ください。

※参加は無料ですが、傷害保険料200円をご負担いただく講座もあります。

※詳細は、講座ごとに開催2ヶ月前にご案内します。内容を変更する場合があります。

編集後記

信州にはおおぜいの観光客がおとずれます。関西の都市で生まれ育ったわたしにとっても、信州の自然はつねにあこがれのままとでした。その魅力は、信州の豊かな生物多様性と深くむすびついています。この魅力をもう一度見つめなおし、国際生物多様性年であるこの年を、長野県にとって新たな一歩を未来にむけて大きくふみだす年にしたいものです。(編集担当 須賀)